

◎郷土史講演会

二月十八日(於…プラザおおむら)  
講演…「禁教史における大村郡崩れ  
の意義」

講師…安高 啓明氏

パネルデイスカッション  
パネラー 安高啓明氏

コーディネーター 大石一久氏  
今村 明氏

◎「大村史談」六十八号発行

◎社会福祉協議会主催「郷土史講座」  
へ講師派遣 十回

◎中央公民館主催講座「史跡で見る大  
村の歴史」へ講師派遣 九回

●佐世保史談会

佐世保及び近郊の歴史の掘り起こし  
の担い手として、研究発表、調査見学、  
論文発表に励んでいます。

一、研究発表

○「平成二十六・二十七年度早岐瀬戸  
の新発見」馬場晶平

○「ふるさと外海から祈りの島へ」  
高橋弘一

○「鵜渡越公園に建つ親鸞聖人像・  
玉姫座像」平川定美

○「危機のSSKを支えた人たち2」  
橋口孝三郎

○「佐世保海軍病院・2」祖谷敏行

○「肥前国風土記に見る相浦地域4」  
中島眞澄

○「佐世保近郊における真珠の歴史」  
廣田昌一呂

○「佐世保勸工場から百貨店へ」山口  
日都志

○「佐世保の景観」酒見莞爾

二、見学会(三回実施)

○中里宿から東漸寺周辺を歩く

○相浦川流域付近の遺跡から中世の石  
塔を歩く

○門前遺跡から竹辺・新田町を巡る  
三、論文発表(機関誌『談林五十七号』)

○「肥前国風土記」に見る相浦地域V」  
中島眞澄

○「しらしらの別当考」豊島幸子

○「旗本・今福松浦家物語」秋山俊雄・  
山口敏幸

○「『代官』を考察する」松永武保

○「旧制長崎県立佐世保中学は今い  
ざ」酒見莞爾

○「佐世保海軍病院史二」祖谷敏行

○「鵜渡越公園に建つ「親鸞聖人像」平  
川定美

○「戦時中の焼物産業について」古川  
久仁生

○「ぐるっと黒島歩いてきました」古  
川恵美

四、研修旅行等  
佐賀県名護屋・唐津方面への勉強会  
(十一月)

長崎県地方史大村大会参加(十一月)  
五、その他

○歴史講座の実施(八回)  
○会報発行(七回)  
○史跡調査・他会の発表講演参加

●島原史談会

一、平成二十八年度の方針

①島原図書館の郷土史を学ぶ会に積極  
的に参加して学習を深め、研究を発表  
する。

②各地の史談会との交流、県研究大会  
への積極参加。

③島原地方の歴史・文化関連情報を伝  
える「島原史談会だより」の発行。

二、平成二十八年度の活動の様子

・四月二十三日「松倉重政島原入国  
四百年」(松尾卓次さん)

・五月二十一日「平家物語と松平文庫」  
(根井浄さん)

・六月二十五日「孝子・安永安次」(林  
田秀晴さん)

・七月二十三日「天然の良港をもつ口  
之津の歴史」(原田建夫さん)

・八月特別講座「歴史から学ぶ災害」(島  
津亮二さん)

・九月二十四日「有馬義貞と口之津開  
港」(生駒輝彦さん)

・十月二十二日「古典文学に親しむ」(松  
本和子さん)

・十一月二十六日「江戸時代の村財政  
と村入用銀」(茂和夫さん)

・十二月十七日「嶋原純茂と墓碑・西  
堂」(宮本次人さん)

・一月十八日「古文書にみる近世の島  
原」(吉田信也さん)

・二月二十五日「ふるさとの寺院を訪  
ねて」(北条純雄さん)

・三月十一日「藩日記にみる享保期の  
暮らし・VIII」(松尾司郎さん)  
その他、昨年度は雲仙岳噴火災害

二十五周年を回顧して、学者・マスコ  
ミ・消防団・自衛隊・ボランティアガ  
イドなどからそれぞれ貴重な話を聞け  
て大変良かった。

また、昨年度は、松倉重政の島原入  
封四百年で、命日に当たる十一月十六  
日に菩提寺・江東寺で供養祭を執り行  
い、多くの市民の参列を得た。某作家  
は「松倉重政という人物ほど忌むべき  
存在はない」と記述しているが、島原  
の地ではそうでもない。四百年続く島  
原の町を開き、名城・島原城を築いた  
人で、今日の島原の基をなした人物で  
ある。公の存在の大きさを再認識した  
一日であった。

なお郷土史を学ぶ会での講話・講座  
は本年度も冊子にまとめて出版。機関  
誌を発行できない本会としては貴重な  
研究誌・資料集となっている。すでに  
二十冊を数えている。

三、「史談会だより」の発行  
毎月の発行で、取り上げた生地は  
七十余り。その内容は、地元紙報道記  
事、講演会案内と報告、図書・機関誌  
の紹介、トピックスなどなど。今年  
は「キリスト教関連遺産」の登録問題で、  
少なからず混乱した。地域的に期待が  
大きかったせいも、本県の歴史研究体  
制の弱さなど、本会としてもその対応  
を考えさせられた年であった。

●長崎近世文書研究会

本会は昭和四十七年二月、当時県立  
長崎図書館の史料課長だった石田保先